

平成28年度 事業計画概要

(単位:千円)

		公益目的事業会計				公益目的以外事業会計			法人会計 <sup>(注4)</sup>	合計
		BM研究 <sup>(注1)</sup>	受託研究 <sup>(注2)</sup>	その他	小計	BMS販売 <sup>(注3)</sup>	その他	小計		
収入	事業収入	100	30,400	0	30,500	12,600	0	12,600	1,050	44,150
支出	事業支出	1,450	28,200	0	29,650	8,900	0	8,900	0	38,550
	管理支出	0	0	0	0	0	0	0	1,750	1,750
	計	1,450	28,200	0	29,650	8,900	0	8,900	1,750	40,300
収益		-1,350	2,200	0	850	3,700	0	3,700	-700	3,850

(注1) BM研究:BM(ブリッジマネジメント)に関する研究及び技術研修事業

(1)BM(ブリッジマネジメント)研究会・フォーラム事業

(内容)

橋梁管理者、大学等研究機関の研究者及び民間企業エンジニアの協力を得て組織され、地方自治体等の管理する橋梁を対象に、維持管理、更新に必要な技術情報に関する研究を共同で推進し、ブリッジマネジメント研究会及びフォーラム等を開催する事業。

(2)BMSコンソーシアム技術研修事業

(内容)

当法人が開発したブリッジマネジメントシステムBMStarの導入・運用を支援する技術者集団(BMSコンソーシアム)を組織して、効率的な橋梁の維持管理を支援する事業で、橋梁保全事業を適切に行うには、専門的な知識・技術が不可欠であり、コンソーシアムが主体となって知識・技術を習得する研修を開催する。

(3)IABMAS JAPAN 事業協賛

(内容)

IABMAS(International Association for Bridge Maintenance and Safety)は、橋梁構造にかかわる様々な技術・研究成果を融合・発展させ、橋梁構造のメンテナンスや安全性、あるいはマネジメントの発展に資する成果を発信することをミッションとする国際学会であり、2015年6月に日本支部が設立された。その活動目的(我が国の深刻化する橋梁等の社会インフラの老朽化問題に対し、学術関係者、道路管理者、建設業界のエンジニアが集い、現場で直面する課題を共有し、解決に向けた革新的な技術の開発促進を行う)に賛同できることから協賛費を支出する事業。

(注2) 受託研究事業

公共団体・企業等からの都市問題に関する調査研究を受託し実施するもので、受託実施した結果得られた研究成果を活動報告等によって、ノウハウの伝授、情報発信という形で広く社会に還元する事業。

(注3) BMS販売事業

当法人が開発した橋梁管理システムのBMSであるブリッジマネジメントシステムBMStarの、各自治体への導入及び導入各自治体の運用・使用料に関する収入を目的とした事業。

(注4) 法人会計

当法人の設立趣旨に賛同し、BM研究会・フォーラム事業に協力いただける研究会会員よりいただいた賛助会費にて構成される法人会計。